

# 定 款



前田工織株式会社

## 第 1 章 総 則

(商 号)

第1条 当社は、前田工織株式会社と称し、  
英文ではMAEDA KOSEN CO., LTD. と表示する。

(目 的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. 建築資材、土木資材および各種繊維を原料とした産業資材の製造、販売
2. 化学繊維の製造、販売
3. 不織布の製造、加工販売
4. 各種繊維の製織、編織、縫製、加工
5. 合成樹脂の成型、加工
6. 土木、建築用接着剤の製造、販売
7. 土木工事および建築工事の調査、測量、設計、監理ならびにコンサルタント業務
8. 環境に関する調査、観測、分析、影響評価および保全計画システムの開発、製作および販売
9. 土木建築工事業
10. 電気工事業
11. 建造物の補修工事
12. クリーニング業
13. 繊維機械、洗滌機械、農業用各種機械およびその部品の販売ならびに修理業
14. 海上流出油防止施設用オイルフェンスの製造、販売ならびに設置・撤去工事
15. 汚濁水拡散防止膜の製造、販売、レンタルならびに設置・撤去工事
16. 流木防止ネットフェンスの製造、販売ならびに設置・撤去工事
17. 各種テント、海陸運搬用シートの製造、販売
18. スポーツ用品の販売
19. 電牧の製作販売およびこれに対する研究改良および宣伝
20. 農村の電化、機械化
21. 動物用医療用具の製造および販売
22. 畜産、酪農機械の製造販売
23. 自動車用ホイールおよびその他輸送機器の部品ならびに関連資材の製造、輸入および販売
24. 災害防護用品、船舶艀装用品および車両装備品の製造および販売
25. 農業用倉庫およびビニールハウスの建設
26. 農業用各種資材の仕入、販売
27. 一般鉄骨建設および住宅建設
28. 医薬品、医薬部外品、医療機器、医療用具、健康食品、化粧品等の製造、販売
29. フィッシュミールおよび魚油の製造、販売
30. 不動産の賃貸および管理業

31. 産業廃棄物収集運搬業
32. 前各号に附帯する一切の事業

(本店の所在地)

第3条 当社は、本店を福井県坂井市に置く。

(機 関)

第4条 当社は、株主総会および取締役のほか、次の機関を置く

- (1) 取締役会
- (2) 監査役
- (3) 監査役会
- (4) 会計監査人

(公告方法)

第5条 当社の公告方法は、電子公告とする。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とする。

## 第 2 章 株 式

(発行可能株式総数)

第6条 当社の発行可能株式総数は、155,000,000株とする。

(自己の株式の取得)

第7条 当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって自己の株式を取得することができる。

(単元株式数)

第8条 当社の単元株式数は、100株とする。

(単元未満株式についての権利)

第9条 当社の単元未満株式を有する株主は、その有する単元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することができない。

- (1) 会社法第189条第2項各号に掲げる権利
- (2) 会社法第166条第1項の規定による請求をする権利
- (3) 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当ておよび募集新株予約権の割当てを受ける権利

(株主名簿管理人)

第10条 当社は、株主名簿管理人を置く。

- 2 株主名簿管理人およびその事務取扱場所は、取締役会の決議によって定める。
- 3 当社の株主名簿および新株予約権原簿の作成ならびにこれらの備置きその他の株主名簿および新株予約権原簿に関する事務は株主名簿管理人に委託し、当社において

はこれを取扱わない。

(株式取扱規程)

第11条 当会社の株式に関する取扱いおよび手数料は、法令または本定款のほか、取締役会において定める株式取扱規程による。

### 第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、毎年9月30日までにこれを招集し、臨時株主総会は、必要あるときに随時これを招集する。

(定時株主総会の基準日)

第13条 当会社の定時株主総会の議決権の基準日は、毎年6月30日とする。

(招集権者および議長)

第14条 株主総会は、代表取締役のうち、あらかじめ取締役会で定めた取締役がこれを招集し、議長となる。

- 2 代表取締役に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が株主総会を招集し、議長となる。

(決議の方法)

第15条 株主総会の決議は、法令または本定款に別段の定めがある場合を除き、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数をもって行う。

- 2 会社法第309条第2項に定める決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う。

(議決権の代理行使)

第16条 株主は、当会社の議決権を有する他の株主1名を代理人として、その議決権を行使することができる。

- 2 株主または代理人は、株主総会毎に代理権を証明する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会における議事の経過の要領およびその結果ならびにその他法令に定める事項については、これを議事録に記載または記録する。

(電子提供措置等)

第18条 当会社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類等の内容である情報について電子提供措置をとる。

- 2 当会社は、電子提供措置をとる事項のうち法務省令で定めるものの全部または一部について、議決権の基準日までに書面交付請求をした株主に対して交付する書面に記載することを要しないものとする。

## 第 4 章 取締役および取締役会

## (員 数)

第19条 当社の取締役は、10名以内とする。

## (選任方法)

第20条 取締役は、株主総会において選任する。

- 2 取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。
- 3 取締役の選任決議は、累積投票によらないものとする。

## (任 期)

第21条 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。

- 2 増員または補欠として選任された取締役の任期は、在任取締役の任期の満了する時までとする。

## (代表取締役および役付取締役)

第22条 取締役会は、その決議によって代表取締役を選定する。

- 2 取締役会は、その決議によって取締役会長、取締役副会長、取締役社長各1名、取締役相談役、取締役副社長、専務取締役、常務取締役各若干名を定めることができる。

## (取締役会の招集権者および議長)

第23条 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、代表取締役のうち、あらかじめ取締役会で定めた取締役がこれを招集し、議長となる。

- 2 代表取締役に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が取締役会を招集し、議長となる。

## (取締役会の招集通知)

第24条 取締役会の招集通知は、会日の3日前までに各取締役および各監査役に対して発する。但し、緊急の必要があるときは、この期間を短縮することができる。

- 2 取締役および監査役の全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで取締役会を開催することができる。

## (取締役会の決議方法)

第25条 取締役会の決議は、議決に加わることができる取締役の過半数が出席し、出席した取締役の過半数をもって行う。

- 2 当社は、会社法第370条の要件を満たす場合は、取締役会の決議の目的である事項につき、取締役会の決議があったものとみなす。

## (取締役会の議事録)

第26条 取締役会における議事の経過の要領およびその結果ならびにその他法令に定める事項

については、これを議事録に記載または記録し、出席した取締役および監査役がこれに記名押印または電子署名する。

(取締役会規程)

第27条 取締役会に関する事項は、法令または本定款のほか、取締役会において定める取締役会規程による。

(報酬等)

第28条 取締役の報酬、賞与其他職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によって定める。

(取締役の責任免除)

第29条 当会社は、取締役(取締役であった者を含む。)の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がない場合は、取締役会の決議によって、法令の定める限度額の範囲内で、その責任を免除することができる。

- 2 当会社は、取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)との間で、当該取締役の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、法令が定める金額を限度として責任を負担する契約を締結することができる。

## 第5章 監査役および監査役会

(員 数)

第30条 当会社の監査役は、5名以内とする。

(選任方法)

第31条 監査役は、株主総会において選任する。

- 2 監査役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。

(任 期)

第32条 監査役の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。

- 2 任期の満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は、退任した監査役の任期の満了する時までとする。

(常勤の監査役)

第33条 監査役会は、その決議によって常勤の監査役を選定する。

(監査役会の招集通知)

第34条 監査役会の招集通知は、会日の3日前までに各監査役に対して発する。但し、緊急の必要があるときは、この期間を短縮することができる。

- 2 監査役全員の同意があるときは、招集の手続を経ないで監査役会を開催することができる。

## (監査役会の決議方法)

第35条 監査役会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、監査役の過半数をもって行う。

## (監査役会の議事録)

第36条 監査役会における議事の経過の要領およびその結果ならびにその他法令に定める事項については、これを議事録に記載または記録し、出席した監査役がこれに記名押印または電子署名する。

## (監査役会規程)

第37条 監査役会に関する事項は、法令または本定款のほか、監査役会において定める監査役会規程による。

## (報酬等)

第38条 監査役の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当会社から受ける財産上の利益は、株主総会の決議によって定める。

## (監査役の責任免除)

第39条 当会社は、監査役(監査役であった者を含む。)の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がない場合は、取締役会の決議によって、法令の定める限度額の範囲内で、その責任を免除することができる。

- 2 当会社は、監査役との間で、当該監査役の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、法令が定める金額を限度として責任を負担する契約を締結することができる。

## 第6章 会計監査人

## (選任方法)

第40条 会計監査人は、株主総会において選任する。

## (任 期)

第41条 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。

- 2 前項の定時株主総会において別段の決議がなされないときは、当該定時株主総会において再任されたものとする。

## (会計監査人の責任免除)

第42条 当会社は、会計監査人との間で、当該会計監査人の会社法第423条第1項の責任につき、善意でかつ重大な過失がないときは、法令が定める金額を限度として責任を負担する契約を締結することができる。

## 第 7 章 計 算

(事業年度)

第43条 当会社の事業年度は、毎年7月1日から翌年6月30日までの1年とする。

(剰余金の配当等の決定機関)

第44条 当会社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めがある場合を除き、株主総会の決議によっては定めず、取締役会の決議によって定める。

(剰余金の配当の基準日)

第45条 当会社の期末配当の基準日は、毎年6月30日とする。

2 前項のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる。

(中間配当)

第46条 当会社は、取締役会の決議によって、毎年12月31日を基準日として中間配当をすることができる。

(配当の除斥期間)

第47条 配当財産が金銭である場合は、支払開始の日から満3年を経過してもなお受領されな  
いときは、当会社はその支払義務を免れる。

改訂年月日

1. 制定 1972年10月27日
2. 改訂 1974年10月23日
3. 改訂 1975年11月30日
4. 改訂 1979年9月5日
5. 改訂 1981年11月30日
6. 改訂 1994年9月20日
7. 改訂 1994年11月20日
8. 改訂 2001年2月1日
9. 改訂 2001年9月14日
10. 改訂 2001年11月20日
11. 改訂 2001年12月20日
12. 改訂 2002年12月18日
13. 改訂 2003年12月17日
14. 改訂 2004年9月30日
15. 改訂 2004年12月17日
16. 改訂 2005年8月19日
17. 改訂 2005年12月19日
18. 改訂 2006年3月21日
19. 改訂 2006年8月22日

20. 改訂 2006年12月18日
21. 改訂 2007年12月18日
22. 改訂 2009年12月18日
23. 改訂 2010年9月21日
24. 改訂 2011年12月16日
25. 改訂 2013年7月3日
26. 改訂 2013年12月19日
27. 改訂 2015年12月18日
28. 改訂 2016年12月16日
29. 改訂 2018年12月19日
30. 改訂 2019年12月18日
31. 改訂 2021年12月16日
32. 改訂 2022年9月28日
33. 改訂 2024年7月1日